



代表取締役社長  
梶川 勇次

## ■ 経営環境

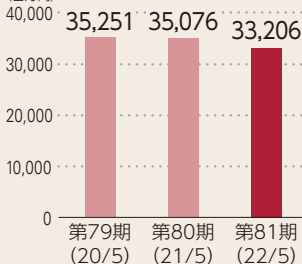
株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響に加えて原材料や原油価格の高騰などにより、先行き不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましては、前期の内食需要の急激な高まりにも陰りが見られ、個人所得の伸び悩みや商品価格の上昇による消費者の節約志向が一層強くなる中、ネット通販や飲食店のテイクアウト・デリバリーの拡大など、業種や業態を越えた競争が激化しております。さらに、ウクライナ情勢の不安定化や為替変動の影響により光熱費や原材料、包装資材等の各種コストが上昇するなど、厳しい経営環境が続いております。

## ■ 連結決算ハイライト

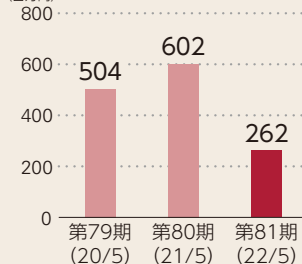
### 営業収益

(百万円)



### 営業利益

(百万円)



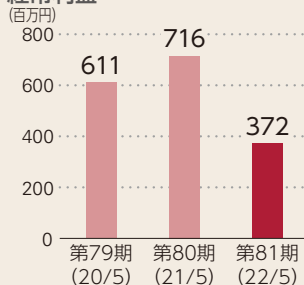
## ■ 営業概況と業績

このような経営環境のもと、当社グループといたしましては、地域に密着したスーパーマーケットとしてHACCP(ハサップ)に沿った衛生管理の徹底により、安全・安心な商品を安定的に提供することを通じ、地域のお客様のライフラインとしての使命を果たしてまいりました。また、岡崎食品加工センター及びドミーデリカ惣菜センターの活用により店舗作業を軽減し作業効率を高めるとともに、事務作業のデジタル化も推進し業務改善を図ってまいりました。さらに、一部店舗での太陽光発電導入によるCO<sub>2</sub>削減や発注精度向上による食品ロス削減等、SDGsへの対応に取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の営業収益は332億6百万円、営業利益は2億62百万円(前年同期比56.3%減)、経常利益は3億72百万円(前年同期比48.1%減)となりました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益は3億71百万円(前年同期比4.5%増)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 経常利益



### 親会社株主に帰属する当期純利益

